



て き あ い り ゆ う じ ん

# 溺愛龍人と

# 孕ませ性生活

本文 88  
PAGE

恐れられる龍人様に嫁いたら、  
常識外れのでろ甘孕ませ開発が

私の日常になりました



はっ  
舞  
はっ  
まい……っ

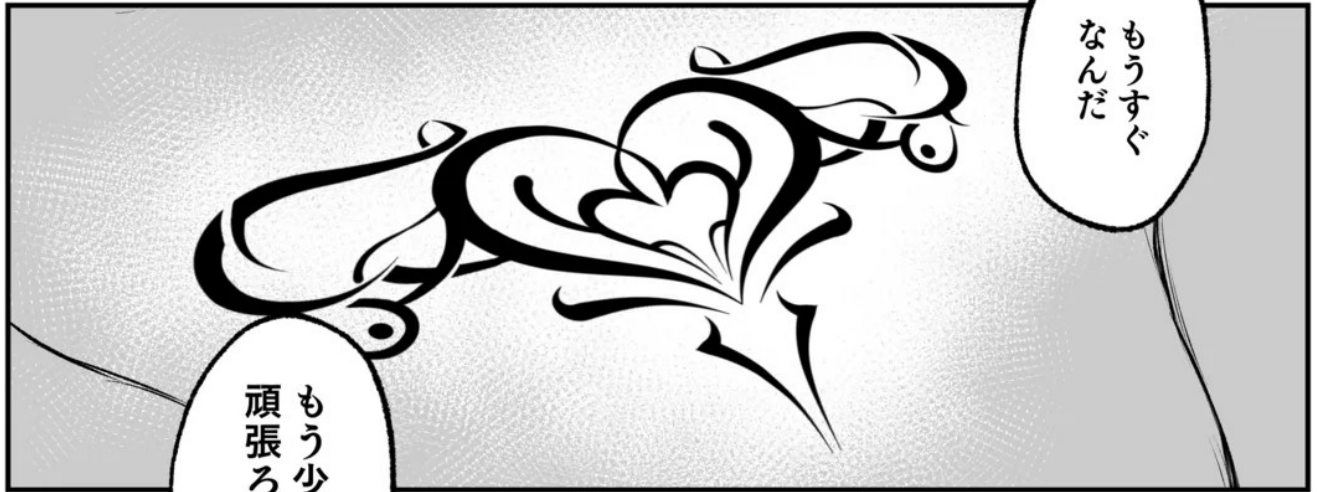


はっ  
更夜さん……っ!  
はっ





もうすぐ



もうすぐ  
なんだ

もう少し  
頑張ろうね



君の卵が

僕の精に  
負けないように

さる男の  
妻を求む

金貨百枚  
嫁入り  
した者には  
贈呈する

嫁入り  
した者には  
金貨百枚を  
贈呈する

こんな村に  
お触れを  
出すなんて

いったいどんな  
醜男なんだ

金貨百枚  
だって

いったい  
どの家の  
者なんだ

怪しい

それだけあれば  
三十年は  
食べていける

金貨百枚…

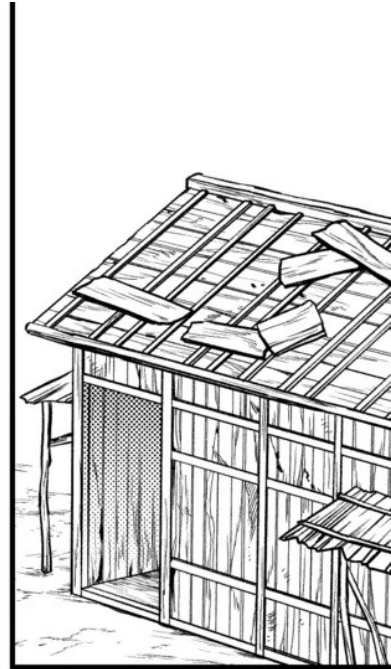
政府公認の  
判子が  
押してある

悪戯や詐欺  
じゃない



おかえり  
舞

ただいま  
お母さん  
お父さん



いいの  
これくら

いつも  
すまないねえ

大丈夫よ

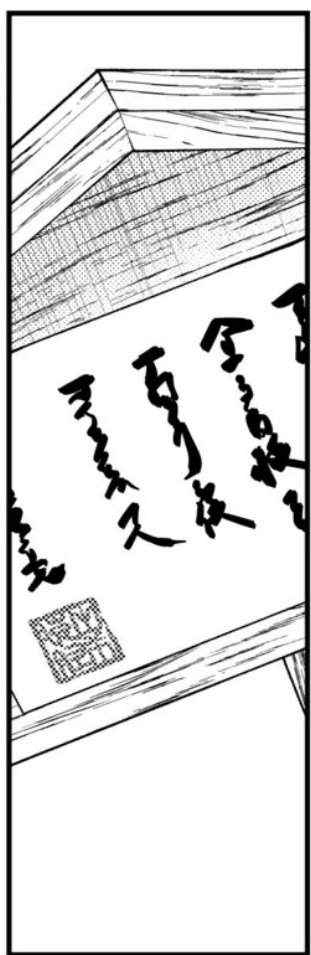


調子はいいの？  
無理してない？

また起き  
上がって！

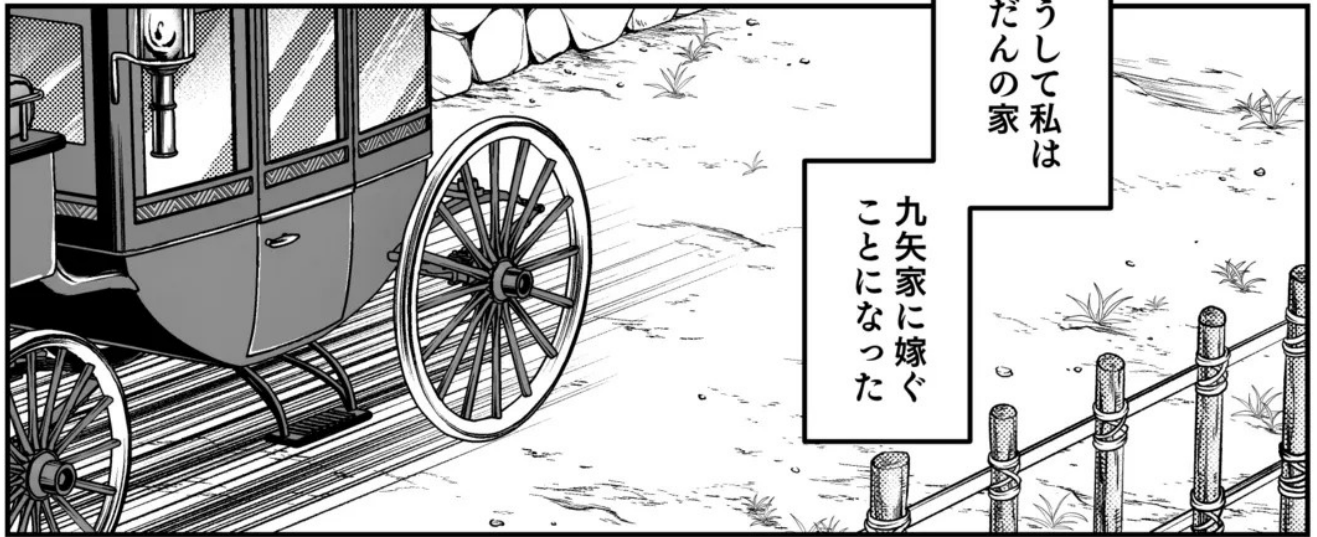


私にできる  
ことがあるなら



母は病に蝕まれ  
高い薬がなくては  
生活もままならない

父は仕事中の事故で  
足を悪くし  
以前のように  
働けなくなった



そうして私は  
くだんの家

九矢家に嫁ぐ  
ことになった



九矢家は  
里一番の  
権力者です

代々龍の力を継ぐ  
『龍人』が当主を  
務めています

貴女の夫となる  
更夜様は  
次期当主であり

龍の血を特に  
色濃く継いで  
おられます

龍の血を...

まさかそんな  
すごい人が  
相手なんて

.....

きっと他にも  
立候補した方は  
いるでしょう？

どうして  
私を選んで  
くださった  
のですか？

.....  
？



!

見ろ

九矢家の  
馬車だ



あれに  
嫁ぐなんて

里の外から?

嫁を娶った  
そうだ



かわいそうに



噂では金百枚で  
嫁を募ったとか

大旦那は  
それほど子を  
望んでいるのか

いよいよ  
なりふり構って  
いられなく  
なったようだ

子はできるのか？

無理じゃろう

何ヶ月  
もつことやら

……？

……まあ  
色々と事情が  
あるんですよ

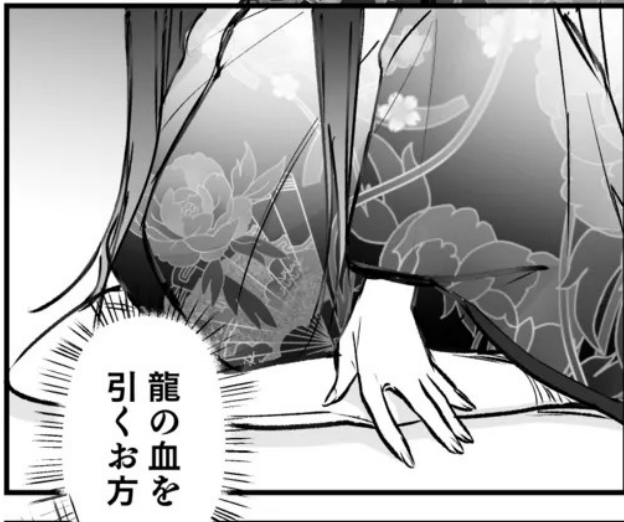
貴方は知らなくて  
いいことです

妻としての  
役割しか期待して  
おりませんので



こんな立派な服  
初めてだわ

115



龍の血を  
引くお方



どんな人  
なんだらう

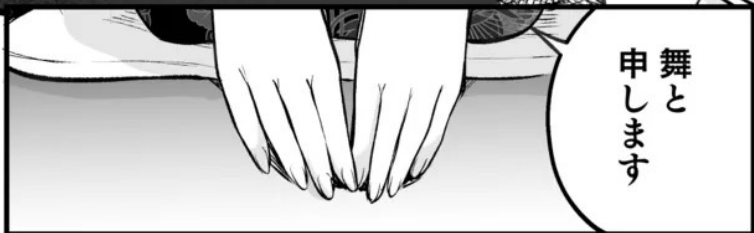


まもなく  
ご当主様が  
いらっしゃいます

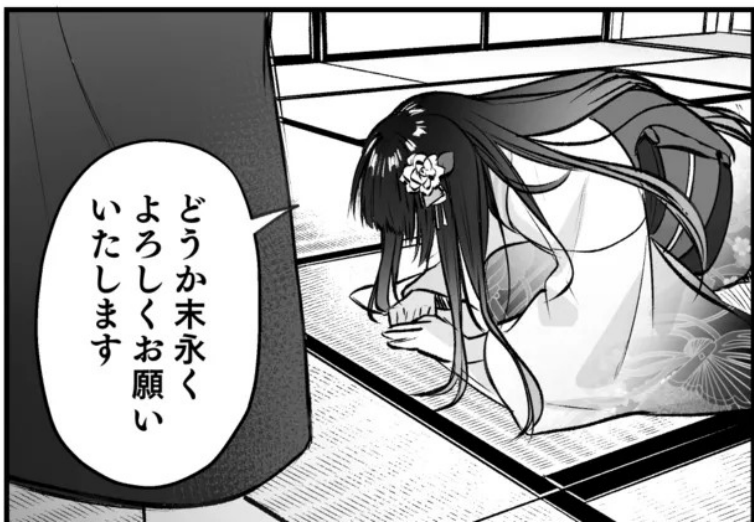
くれぐれも  
失礼のないように

はいっ！





舞と  
申します



どうか末永く  
よろしくお願  
いいたします



.....  
!!

.....  
?



僕は

君を愛する  
つもりはない



顔合わせは  
すませた

僕はもう  
部屋に戻る



どうせ  
すぐに――

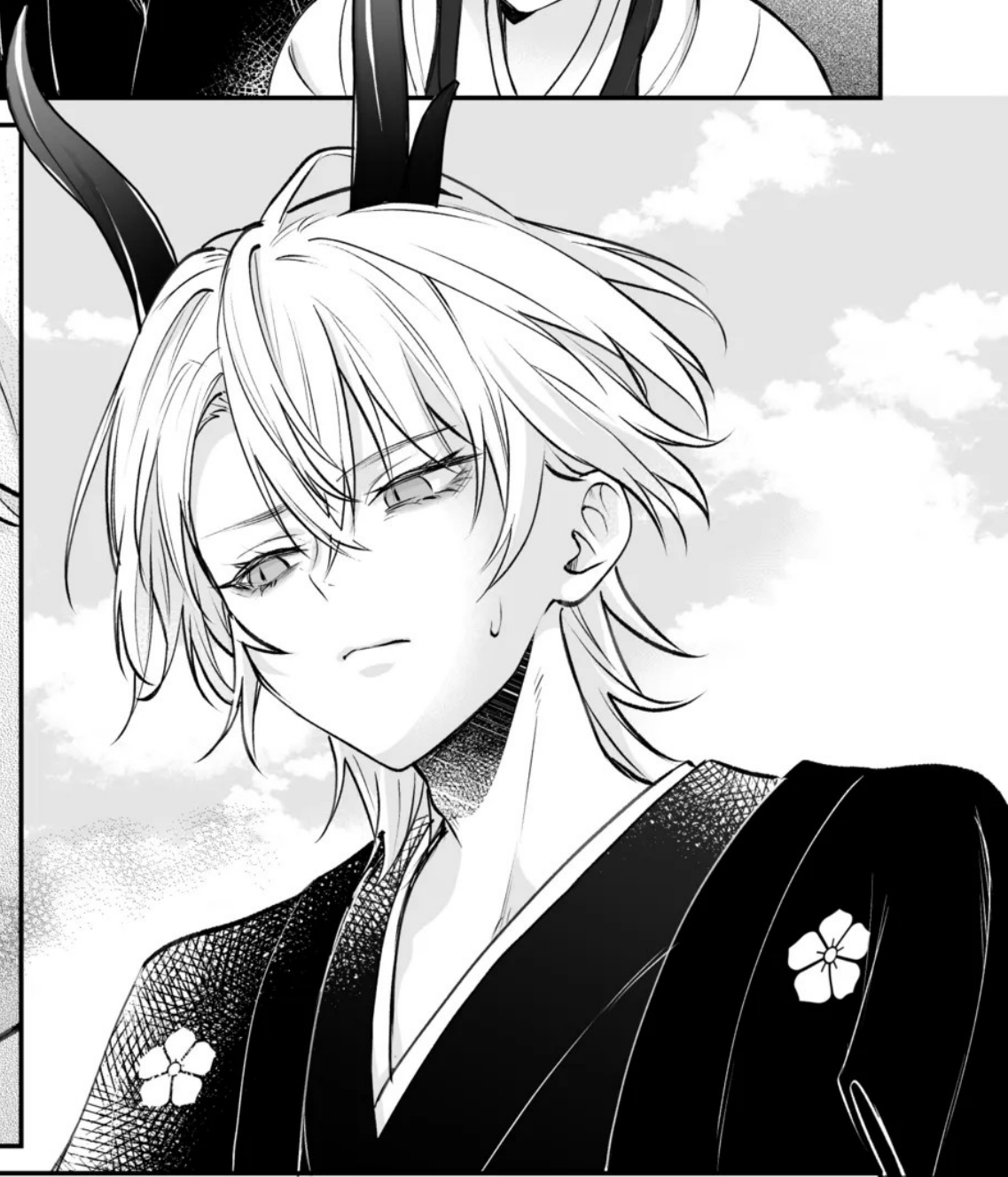
いや  
なんでもない

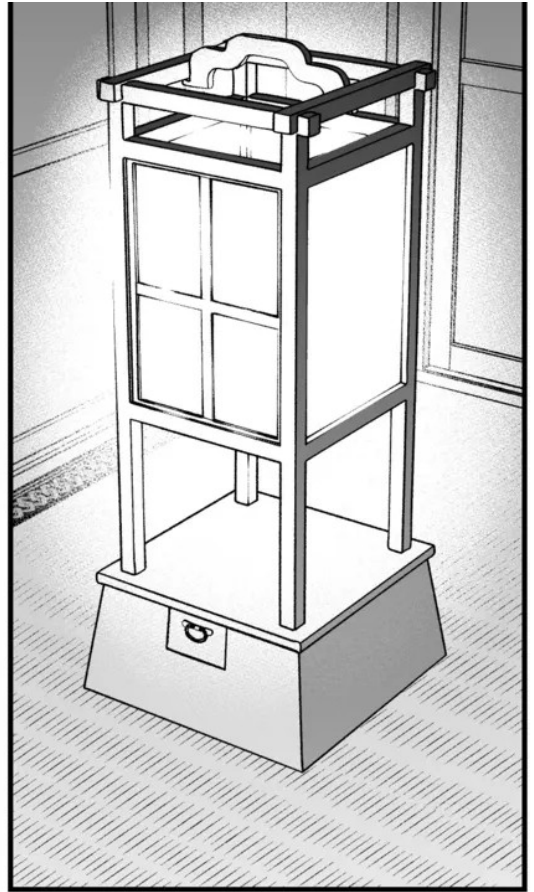
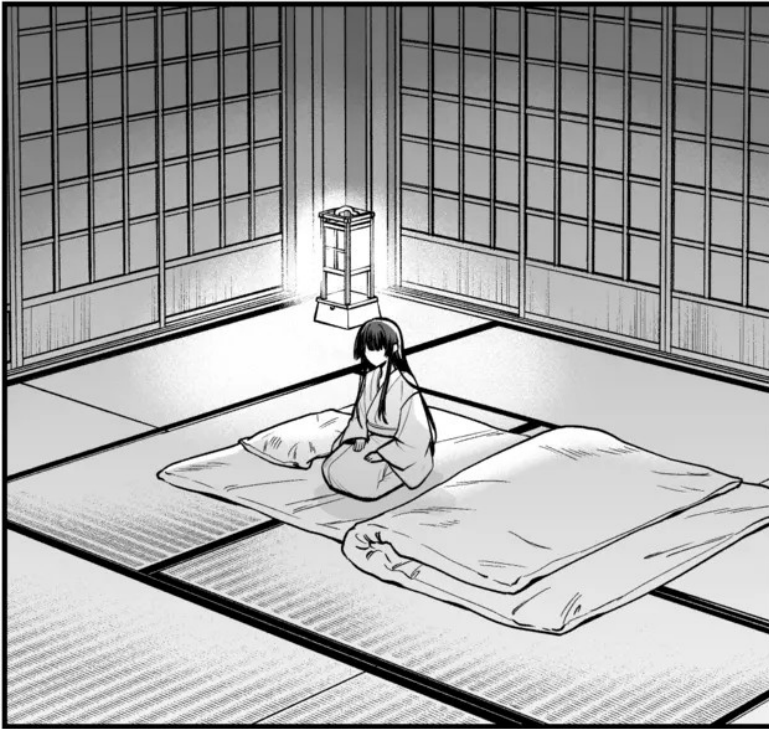
初めての  
顔合わせは  
そんなもの

それ以降彼と  
会うこともないま

結婚式の日を迎えた







分からない  
ことだらけだ

あれほどの  
美丈夫なら  
嫁になりたがる  
人は大勢いるはず

なのにどうして  
里の外から  
嫁を募集したのか

それも  
膨大な報酬を  
払ってまで



無理じゃろう

子は  
できるのか？



なぜあんな  
噂が流れて  
いるんだろう

私の子を産める  
体かどうかなんて

里の人たちが  
知っている  
はずがない



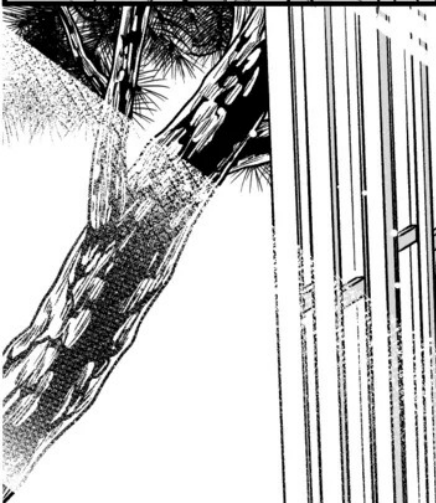
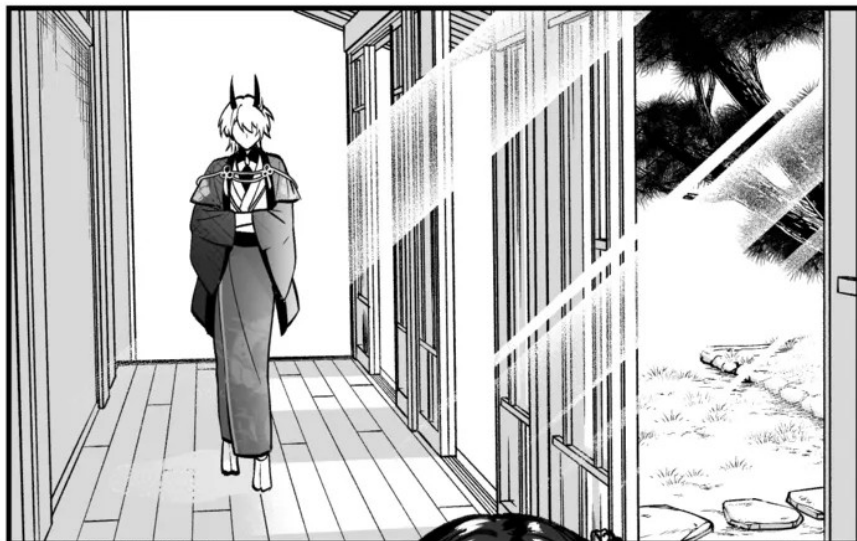
跡継ぎを作る  
ことが目的なら

どうして…

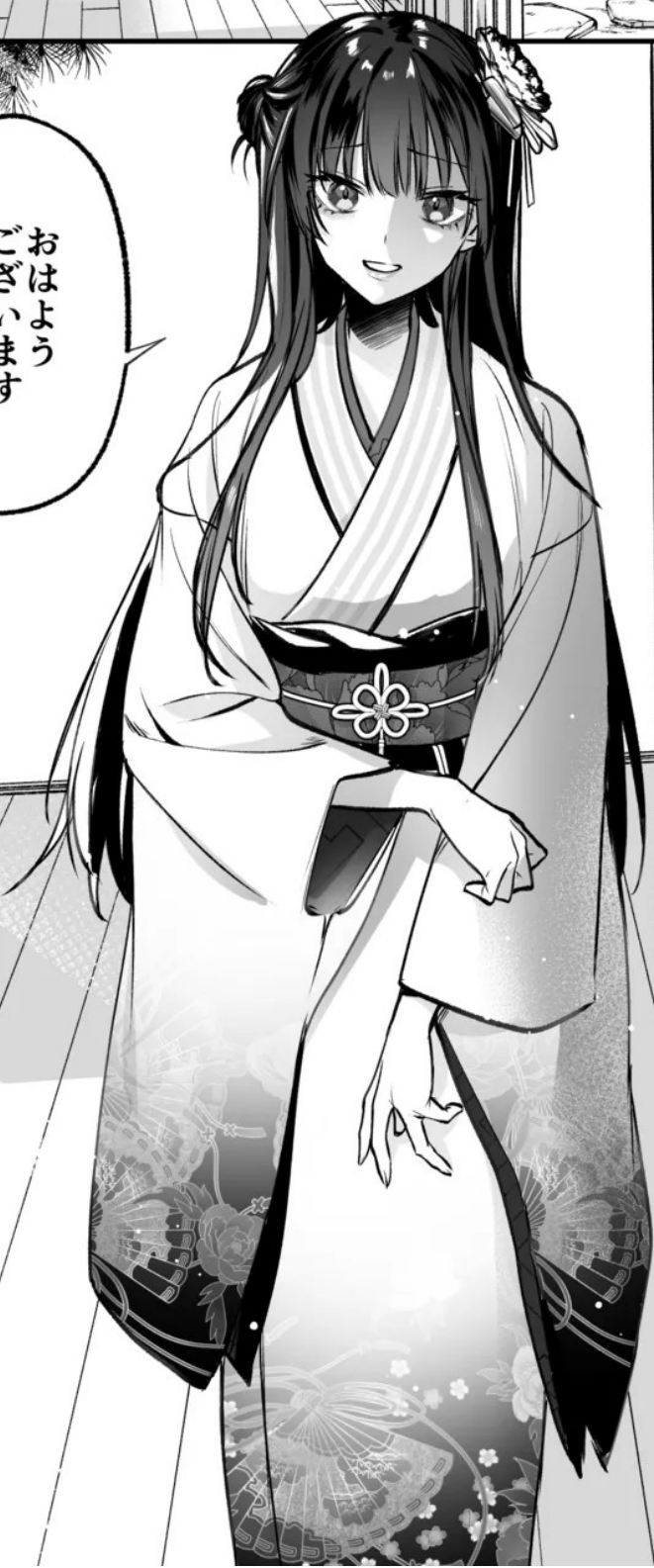


もうすぐ  
夜が明ける

初夜だというのに  
彼は来ない



おはよう  
ございます  
更夜様



……起きて  
いたのか



…昨夜は  
なぜ

私は何か  
失礼なことを  
してしまっ  
ましたか？

違う！



…そうじゃない

君は何も  
悪くない



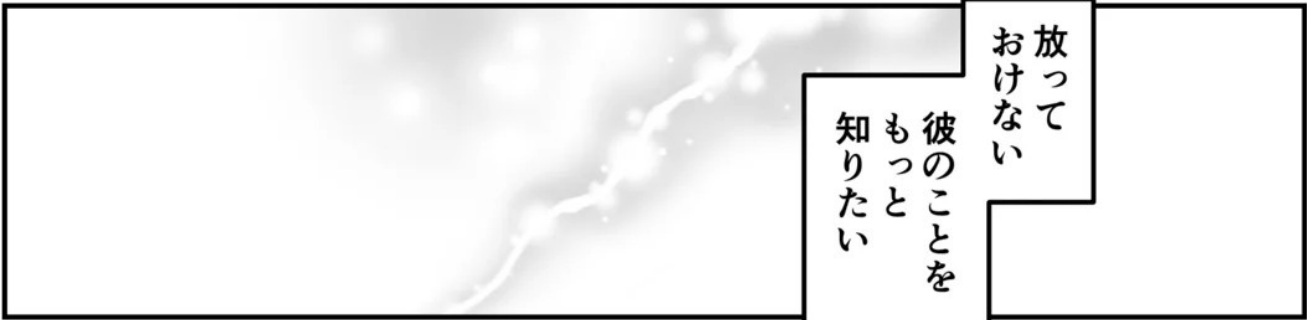
これは  
僕の問題だ

放って  
おいてくれ

更夜様！



あんな顔  
するなんて



放って  
おけない  
彼のことを  
もっと  
知りたい



あんな様子  
じゃねえ…

大旦那様は  
どうするの  
かしら

そのためには…



ねえ聞いた？



あのお二方  
昨夜は何も  
なかったそうよ

やっぱり…

皆様


おっ

奥様!

お忙しい  
ところにい  
ごめんなさい

更夜様について  
教えてほしいのです






九矢家は  
龍神の血を引く  
一族です

高貴な血を  
絶やさなため

跡継ぎを  
残すのが  
当主の使命

しかし更夜様は



先祖返りで特に  
強い力を  
持っておいで

龍神の力を前に  
ただの人間の女が  
耐えられる  
はずもなく

夜伽の教育係は  
彼の恐ろしさに  
逃げ帰り

更夜様はその者を  
臆病者と  
解雇して  
しまいました

その噂が里に広まり  
ただでさえ遠巻きに  
されていた更夜様は  
孤立していく一方

嫁にくる女  
などいるはずも  
ありません

……だから  
噂を知らない  
里の外の人間を  
娶ったのですね

おそらく更夜様は  
試して  
おられるのです

舞様が九矢家に  
ふさわしいか

かつての教育係の  
ように逃げ出す  
臆病者かどうかを





なんだ

それなら  
やることは  
単純ですね！

嫌われている  
のではなく  
試されているなら

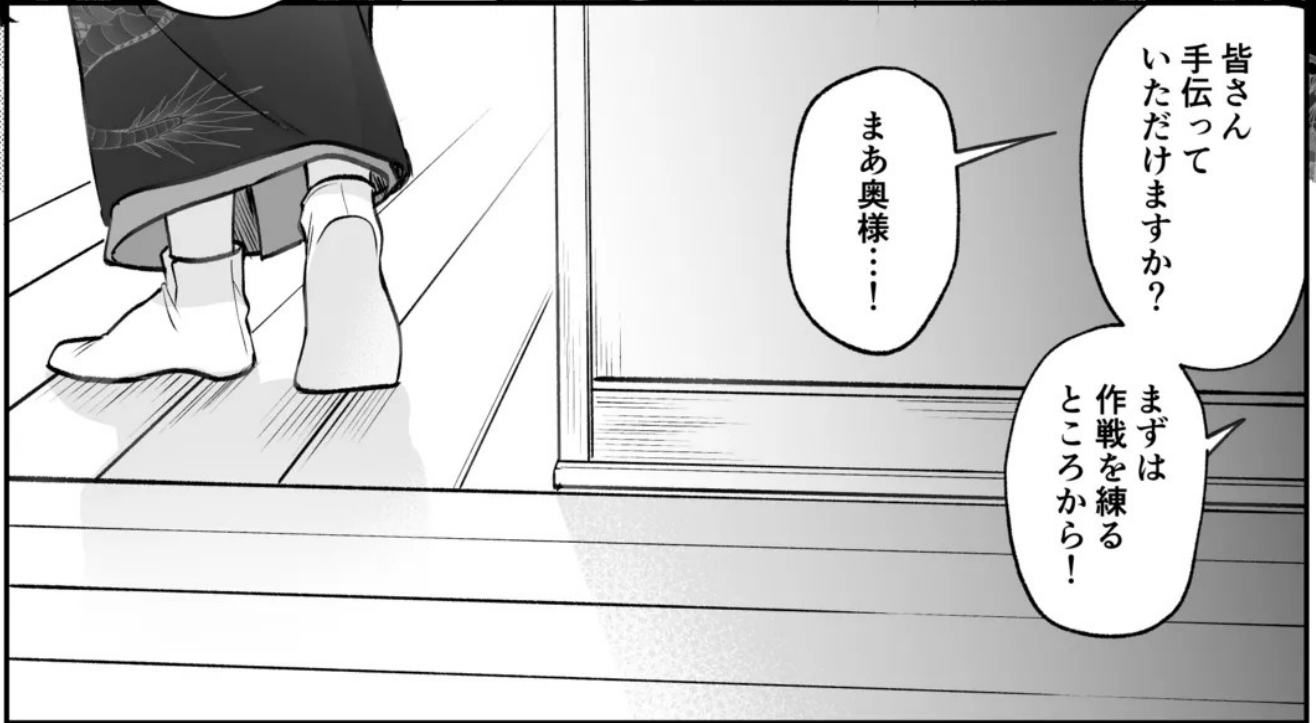
更夜様に認めて  
もらえるよう  
頑張るだけです！

私はもう  
更夜様の妻  
なのですから！

皆さん  
手伝って  
いただけますか？

まあ奥様……！

まずは  
作戦を練る  
ところから！



そうして  
九矢家の妻として  
務めに励む  
日々が始まった

私を試して  
いるのか

それとも他に  
拒絶する理由が  
あるのか

更夜様が本当は  
どう思っているか  
なんてわからない

けれどじっと  
しては  
何も変わらない



一ノ瀬家には  
獅子屋の  
季節もの…

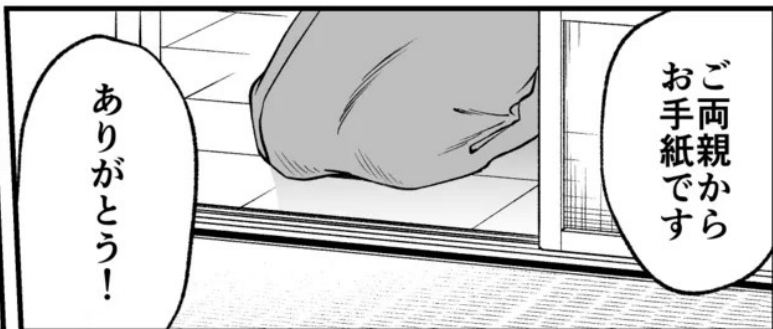
三谷家は先日  
奥方が病気を  
されていたから

四ツ目家にも  
見舞いの  
手紙を…

奥様



……！



ご両親から  
お手紙です

ありがとう！



父もすっきり  
元気になる  
みたいで

二人で  
遠出して  
楽しんで  
みたい

病気が治る  
どころか  
ど返った  
若返った  
みたいね



よかった…！  
母の病気が  
治った

まあ！  
おめでとう  
ございます！



ええ

よかった

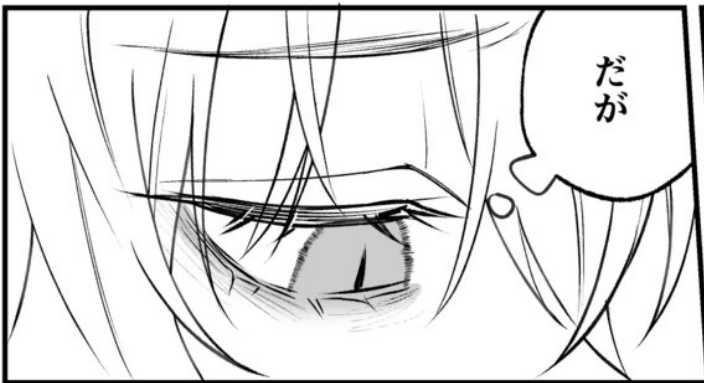
本当に…!



奥様—!

ご両親の病気が  
治られたって  
本当ですか!?

おめでとう  
ございます!



だが



随分と馴染んだ  
ようだな





だが

両親の病が  
治ったのであれば

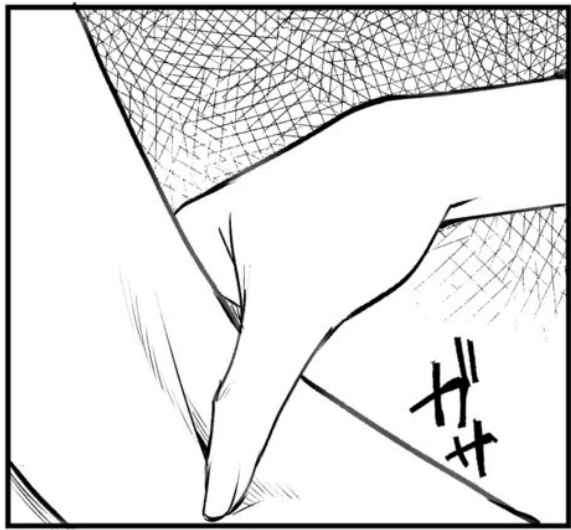
もうこの家に  
留まる理由は  
ないだろう



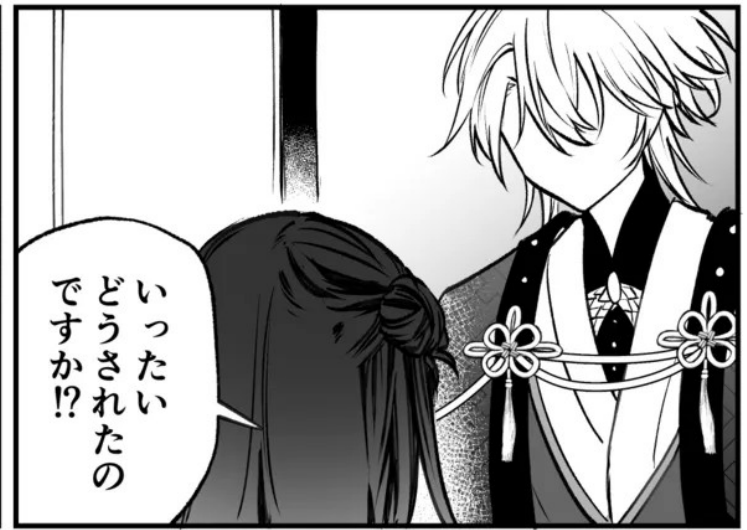


入っても  
いいだろうか

更夜様!?



ガサ



いったい  
どうされたの  
ですか!?



これを

離縁状

離縁状……？

君はもう  
この家に留まる  
理由はないはずだ

君を娶った時  
以上の金を出そう

その金でご両親と  
暮らすといい

ああ

君が石女と  
誹りを受ける  
ことはない

市井には  
僕の悪評が  
広まっている

追い出された君を  
哀れみこそすれ  
罵る者など  
いるものか

望むのなら  
君の婚姻相手も  
見繕おう

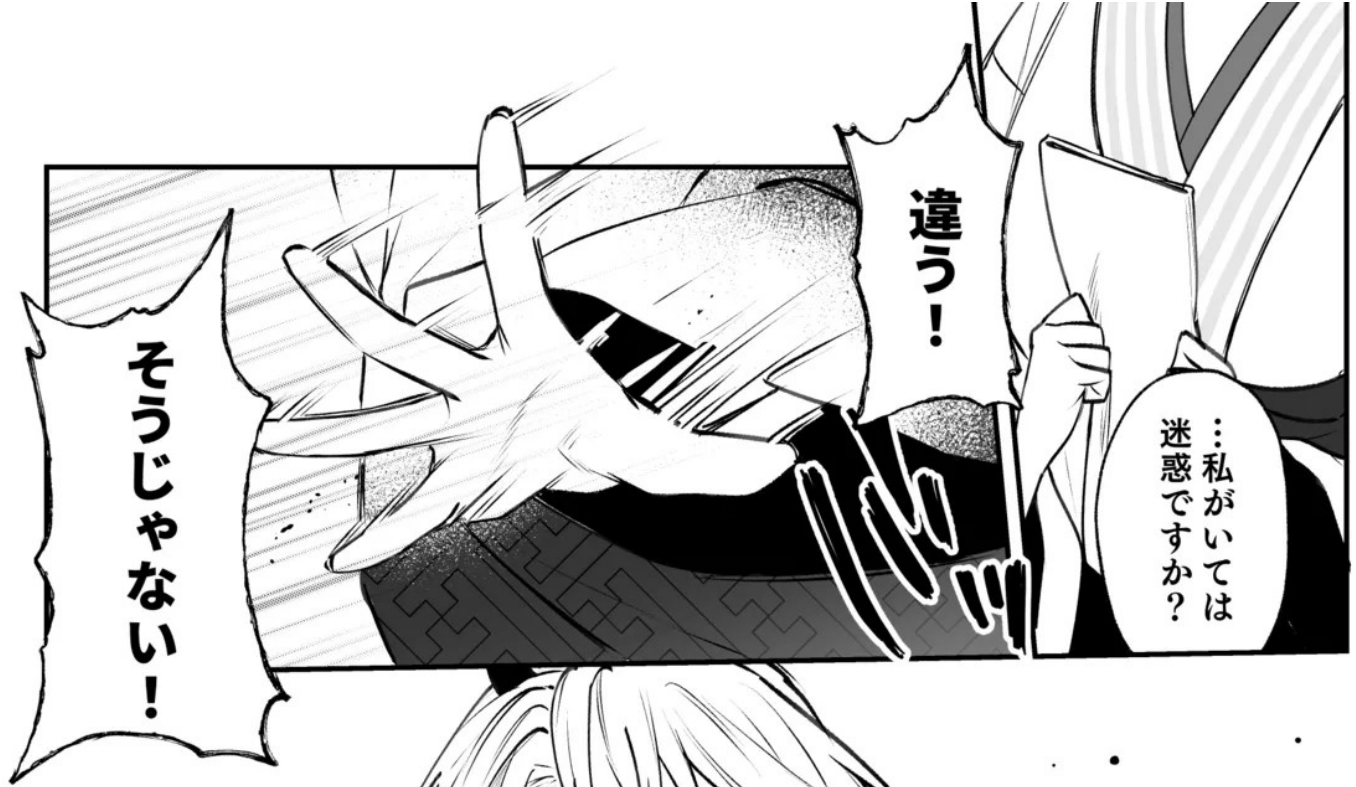
分家に君と同じ  
年頃の男が  
いたはずだ

龍人ではない

ただの  
人間の男が

僕のような  
男のために

君の人生を  
使い潰す  
必要はない



そうじゃない！

違う！

…私がいては  
迷惑ですか？



そうじゃ

ないんだ…



僕は……



私は  
子を産む  
ために連れて  
こられたのだと  
理解しています

跡継ぎを  
残すことが  
九矢家にとって  
どれほど  
重要かも

全て承知  
した上で

私はここに  
いるのです

— どうして  
そこまで



九矢家に嫁いだ  
おかげで

私の両親は  
以前のよう  
過ごせるよう  
になりました

その恩は  
一生をかけても  
返せるものでは  
ありません



そんなことは

それに

更夜様

ずっと私のことを  
気にしておられた  
でしょう？

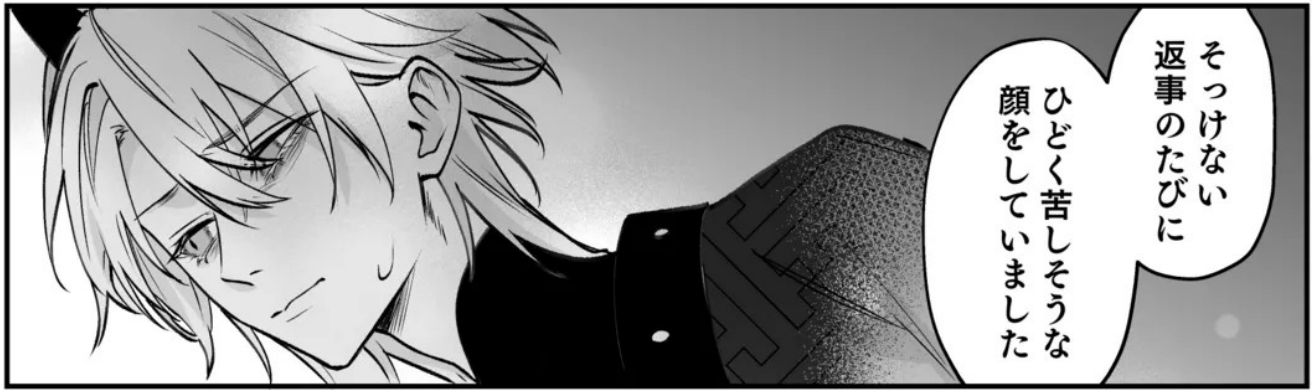




気付いて  
いたのか

無視すれば  
いいのに

朝の挨拶も  
必ず返して  
くださって



そっけない  
返事のたびに

ひどく苦しそうな  
顔をしていました



…君は何も  
悪くない



貴方はとても  
優しい方です

どうか私を避ける  
理由を教えてください  
いただけませんか？

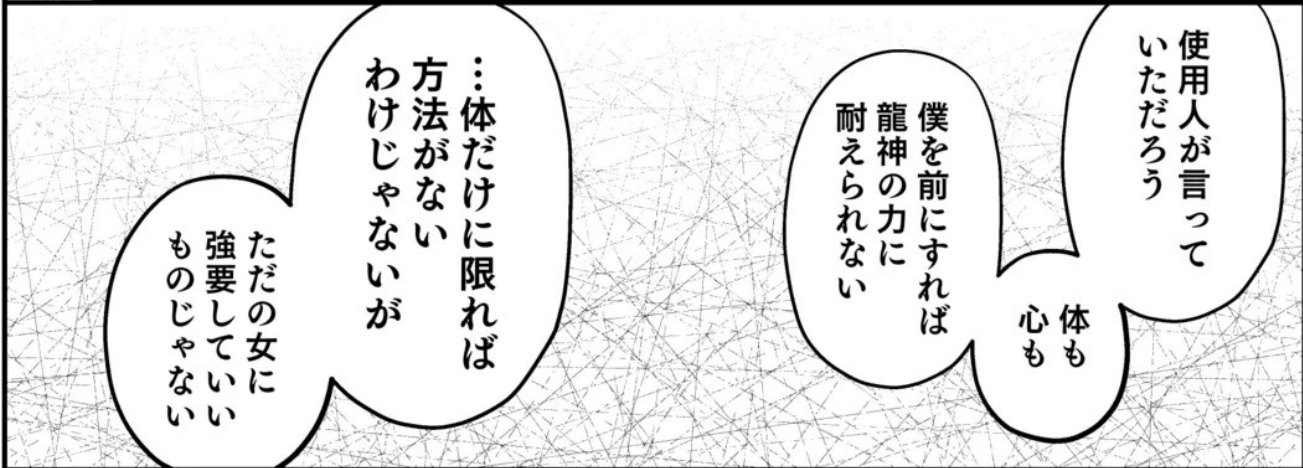
私に至らぬところが  
あるのなら  
直すよう  
努力しますから



…龍人は  
人間とは違う



ただの人間が  
龍人と交われば  
命を落とす



使用人が言って  
いただろう

体も  
心も

僕を前にすれば  
龍神の力に  
耐えられない

：体だけに限れば  
方法がない  
わけじゃないが

ただの女に  
強要していい  
ものじゃない



君が僕の嫁に  
選ばれたのは  
僕の悪評を知らない  
からじゃない

里の外の者なら  
死んでも構わない

それが九矢家の  
前当主

僕の父の  
意向だからだ

だから私を拒絶  
していたのですか

……そうだ

君はこの里の  
人間じゃない

ここに  
縛られていい  
女性じゃない

離縁状

九矢家の使命に  
反してまで

……全部  
私のために

……やっぱり貴方は  
優しい人ですね



私は

貴方と本当の  
夫婦になりたい



形だけじゃなく  
心から互いを  
愛し合う  
ような夫婦に

私はこれまで  
とても幸せな  
人生でした

これからも  
そうでありたい

幸せになって  
ほしい

貴方にも

いきなり現れた私を  
愛せとは言いません

ですが  
形からの始まりで  
あったとしても

きっと幸せに  
なれると  
信じています

私はもう貴方の  
妻なのです

どうか傍に  
いさせて  
ください

僕を前にすれば  
龍神の力に  
耐えられない

：体だけに限れば  
方法がない  
わけじゃないが

それに  
人間と龍人が  
交わる方法も  
あるのでしょうか？







一目惚れなんだ



里の外の人間を  
僕の嫁に  
すると聞いて

何があろうと  
拒絶する  
つもりだった

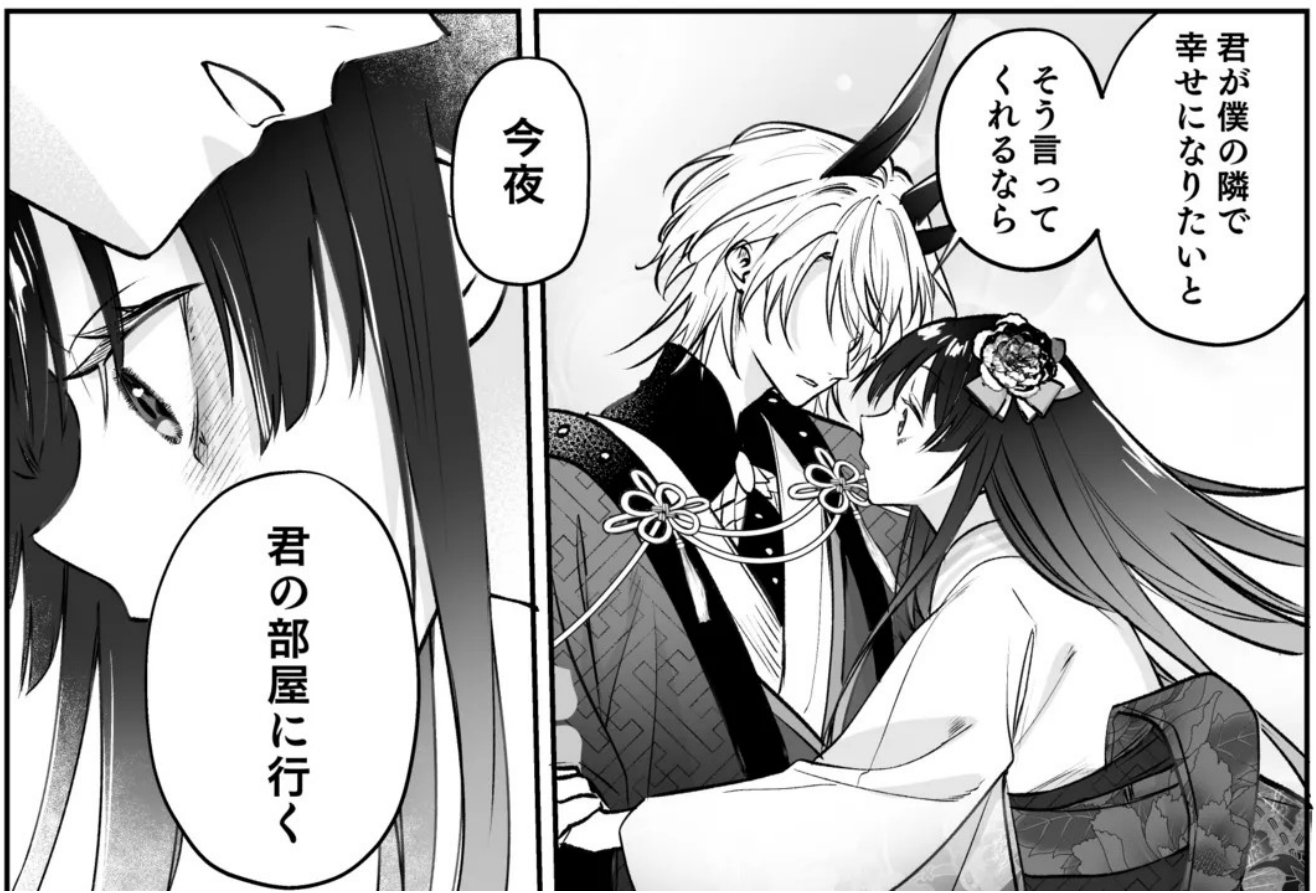
だけどそんなこと  
できなかつた

君が悲しそうな  
顔を見ると

張り裂け  
そうなほど  
胸が痛んだ

僕だって  
君に幸せに  
なってほしい

君の傍にいたい



君が僕の隣で  
幸せになりたいと

そう言って  
くれるなら

今夜

君の部屋に行く

龍人の交尾は  
人間とは違う

異種間の交わり  
なのだから  
相応の準備が  
必要になる

使命感だけでは  
耐えられない  
過酷なものだ

どんなもので  
あっても  
受け入れます

経験は  
ありませんが  
それでも…!

嬉しいよ

声も表情も  
全然違う

ただの  
男の子みたい



普段は無理をしてるんだ

当主らしく  
振舞おうと思って

でも今は



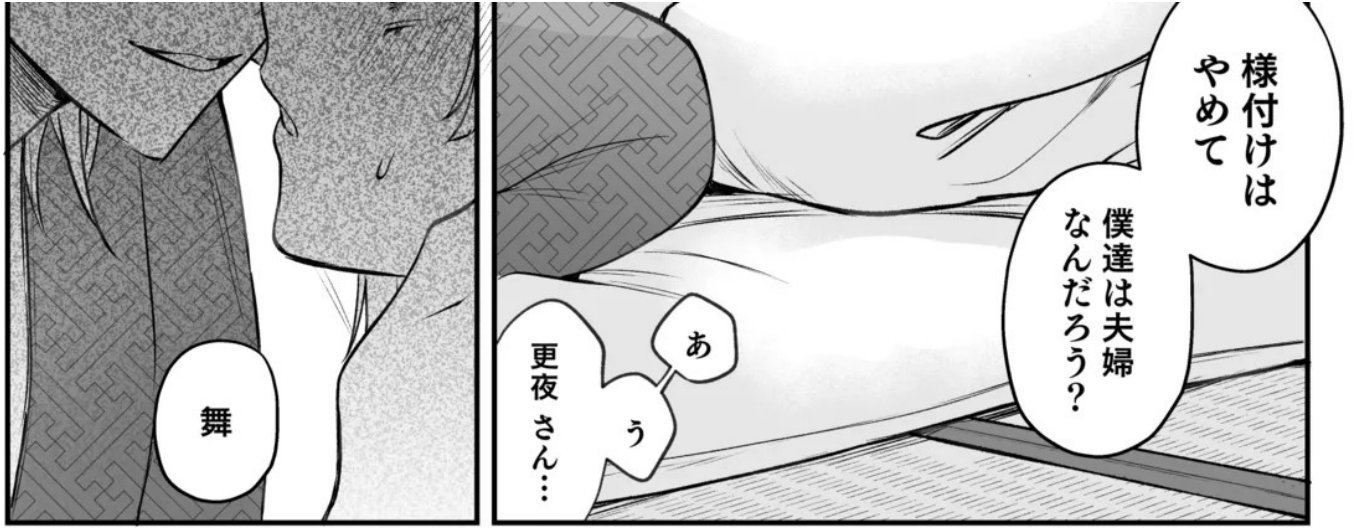
九矢家当主  
じゃなく

ただの  
更夜として  
君に触れたい



……いや？

さ  
更夜様……!





びっくり  
してる  
かわいい…♡



中に  
出したら  
最後

君は僕の子しか  
孕めなくなる

ドキ  
ドキ

ドキ  
ドキ  
ドキ



コク

…それでも  
いいんだね？



君は龍人の  
ツガイとなる

一生僕から  
離れられない



ドッ  
ドッ  
見ている通り  
この大きさじゃ  
君の中に入らない

おっきら  
どうしよう  
すげい  
匂い

ドッ  
ドッ  
目が  
離せない



人知を超えた  
快樂へ  
ツガイを導く

龍人の精は  
ツガイの体を  
作り替える  
毒でもある

僕を受け  
入れる器に  
仕立て上げ



だから  
これを使う

ネット...



大丈夫

ぎゃ

ゆっくり  
慣らして  
いくからね



ただの人間  
であれば  
死んじゃうほど  
気持ちいい



ああ

嬉しいよ

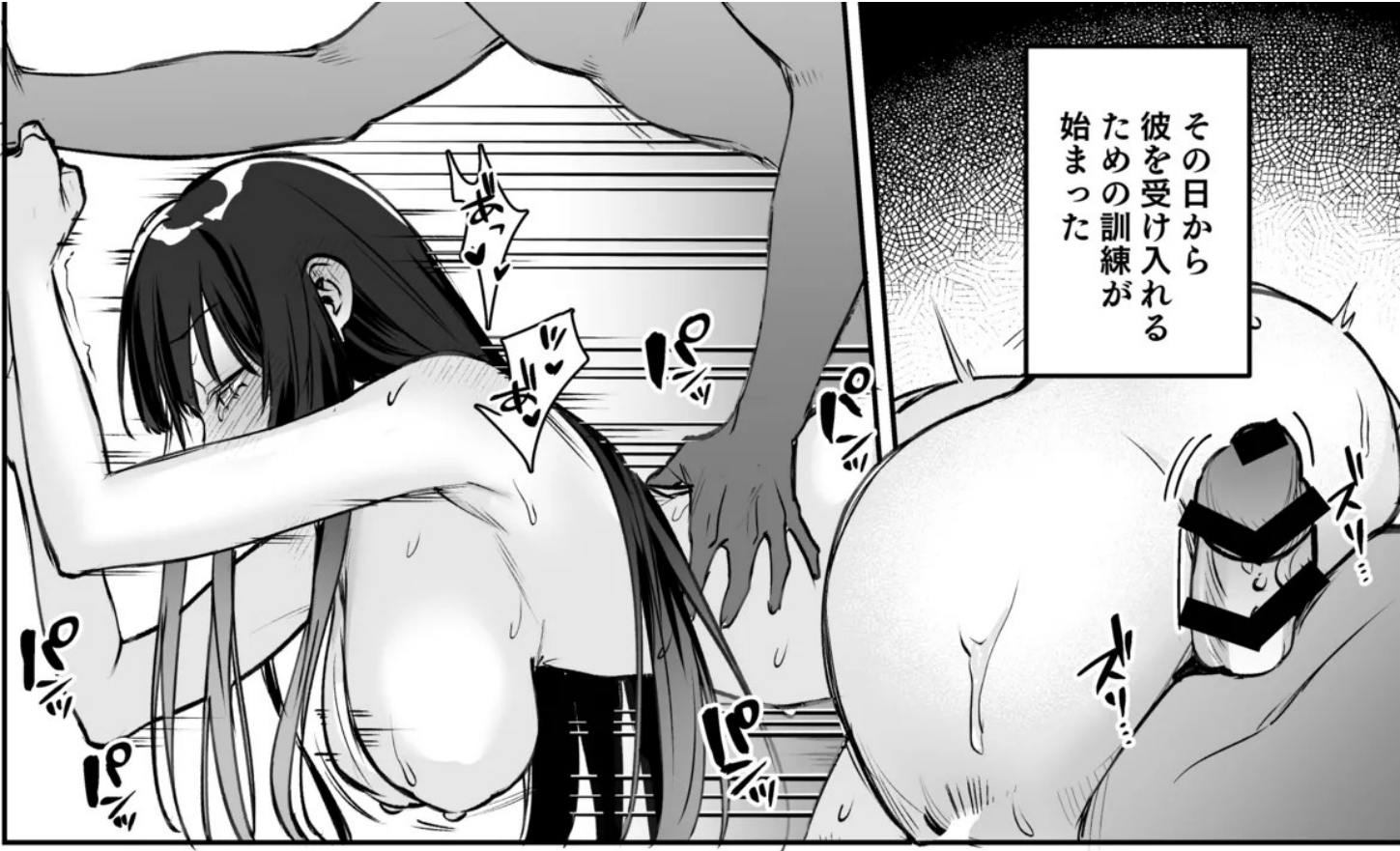
まさか君が  
受け入れて  
くれるなんて

夢みたいだ

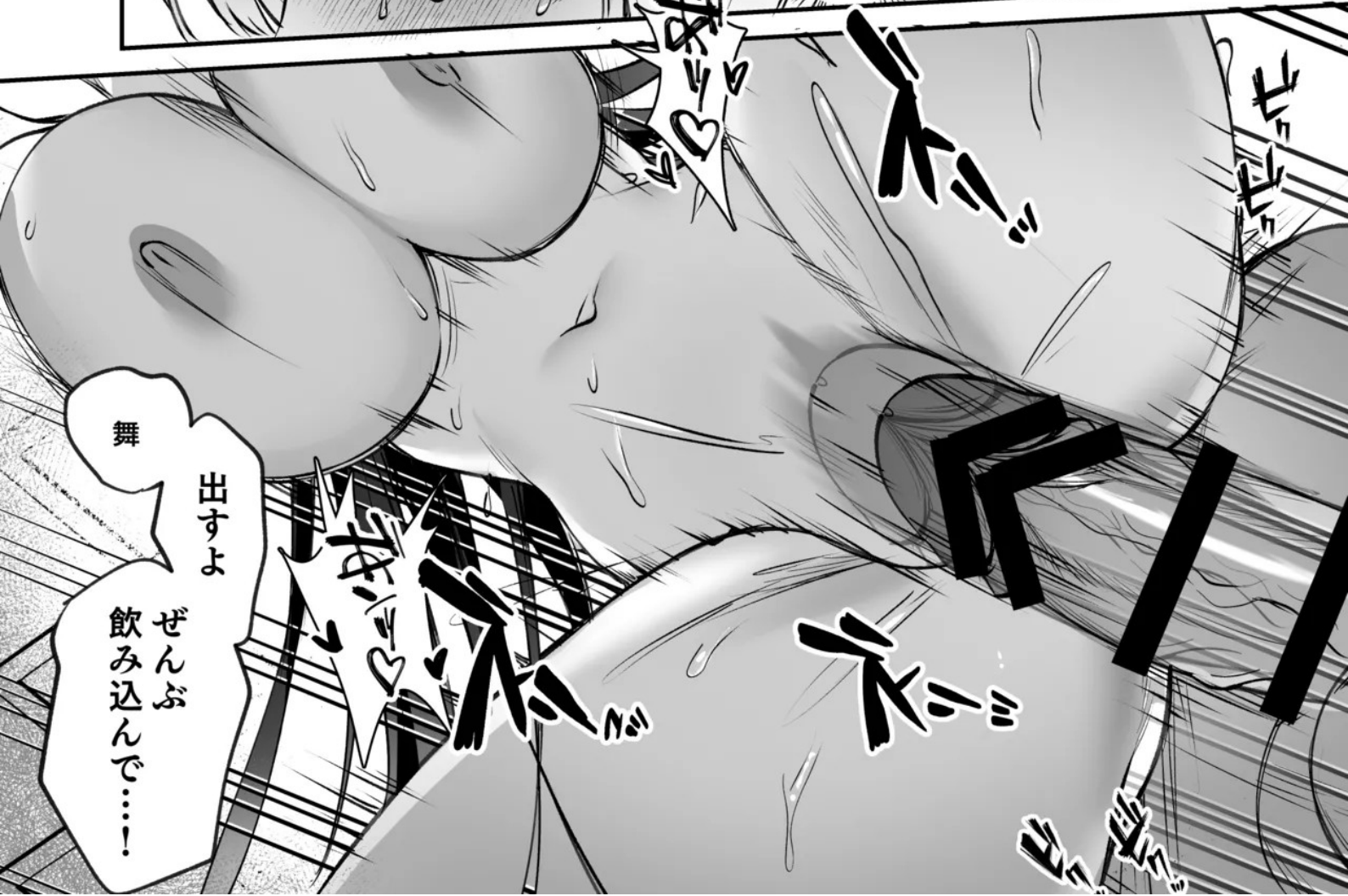


これから一緒に  
頑張ろうね

その日から  
彼を受け入れる  
ための訓練が  
始まった



あつくて  
おっきいのが  
擦れるの...!  
ただなの...!  
パンパンって  
えっちな音  
がして  
変な気分  
になっちゃう...!



舞

出すよ

ぜんぶ  
飲み込んで...!



あ♡  
あ...っ♡♡♡♡♡

更夜さんの  
ビクビク  
してる...♡

出されちゃう...っ♡♡



頑張っ♡  
子を孕んだら  
もっと大変  
なんだから

くるし...っ



更夜さんはまず  
私の腹に  
術を刻んだ

この印がある限り  
子を身籠る  
ことはない

子宮壁に  
喰いついた精子は  
子宮そのものを  
作り替える

子宮の拡張  
柔軟性の向上

龍の子を育てるに  
ふさわしい揺り籠へ



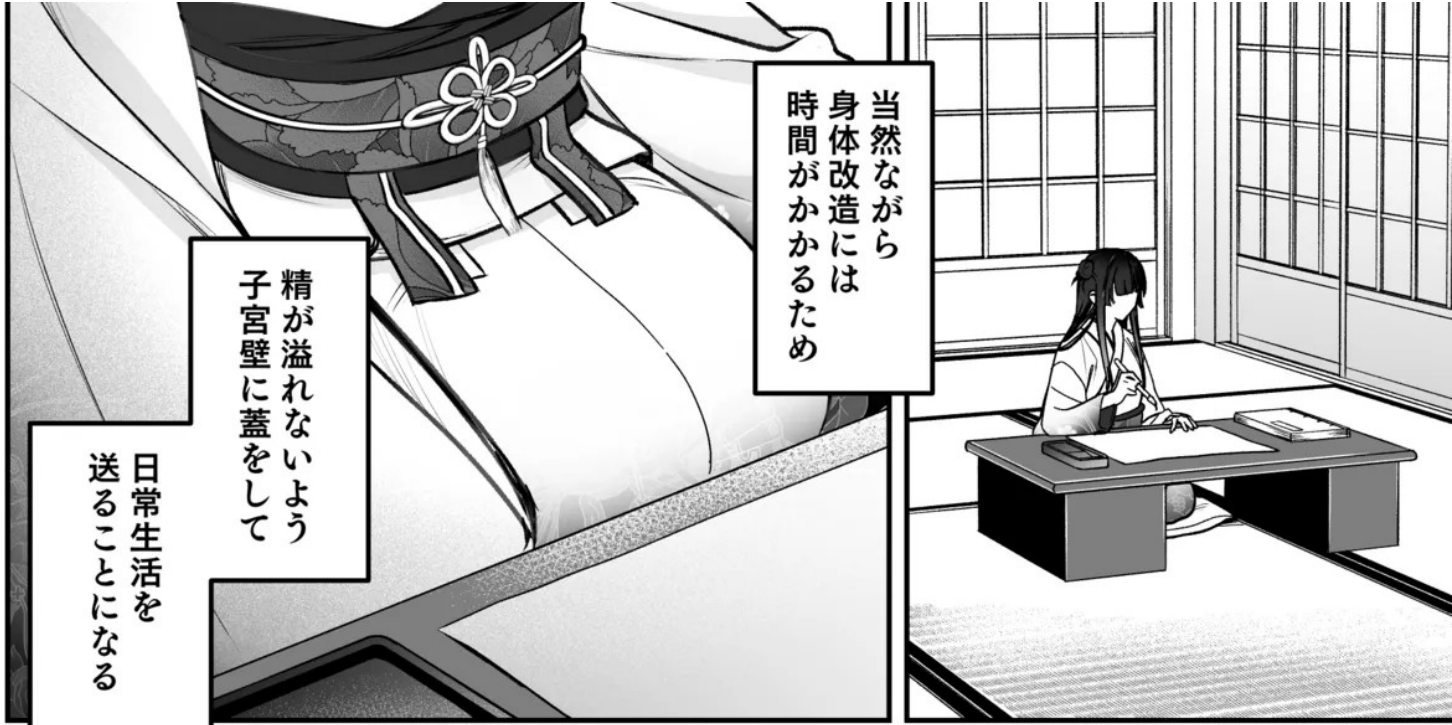
当然  
更夜さんの  
大きすぎるモノは  
今の私には入らない

ある程度私の体が  
作り替わるまで

挿入しないまま  
中出しされる  
ことになった



また――



当然ながら  
身体改造には  
時間がかかるため

精が溢れないよう  
子宮壁に蓋をして

日常生活を  
送ることになる



奥様

一ノ瀬家への  
返事は  
どうされますか

そうですね…



そろそろ  
例祭ですから

—ッ!?





始まったね

あぁッ♡

ヒッ

ヒッ



更夜さんの  
せーしが  
卵の部屋に  
入ろうと  
して…っ!



今どうな  
ってるか  
わかる?



はっ  
はっ

龍人の精子は強い

だめ  
だめっ

やだっ

卵見つかっ  
ちやっただ…!

そんなに  
つんつんしたら  
だめえ…っ♡

人間の卵子は容易く  
食い破られてしまう

まっ—



わたしの  
たまご…

死んじゃ

あ  
ああ…

大丈夫

泣かないで

特訓すれば  
ちゃんと  
受精できるよ



上手になったね

はっ♡

んむっ

ん、ちゅう

体を龍の因子に  
慣らさなくては  
ならない



龍の精に  
耐えられる  
卵を作るには

んむっ



最初は  
苦しかったのに  
今は何ともない

それどころか

更夜さんの  
濃い雄の匂いに

頭がくらくら  
して…♡



ああ  
君の望み  
通りに…♡



ください  
いっぱい  
出して♡



んっ！

んっ！

んっ！



精子が  
暴れてる…♡  
そこに私の  
卵はないのに

孕ませたくて  
怒ってる…♡

濃い  
多い…♡  
濃すぎて  
塊が…♡



とにかく長時間  
龍の精に  
触れることで

体を龍の番に  
ふさわしいものに  
変えていくのだ



そんな日々を送っていても

九矢家の嫁としての  
お勤めはある

膨らんだ腹では  
人前に出られない

はい

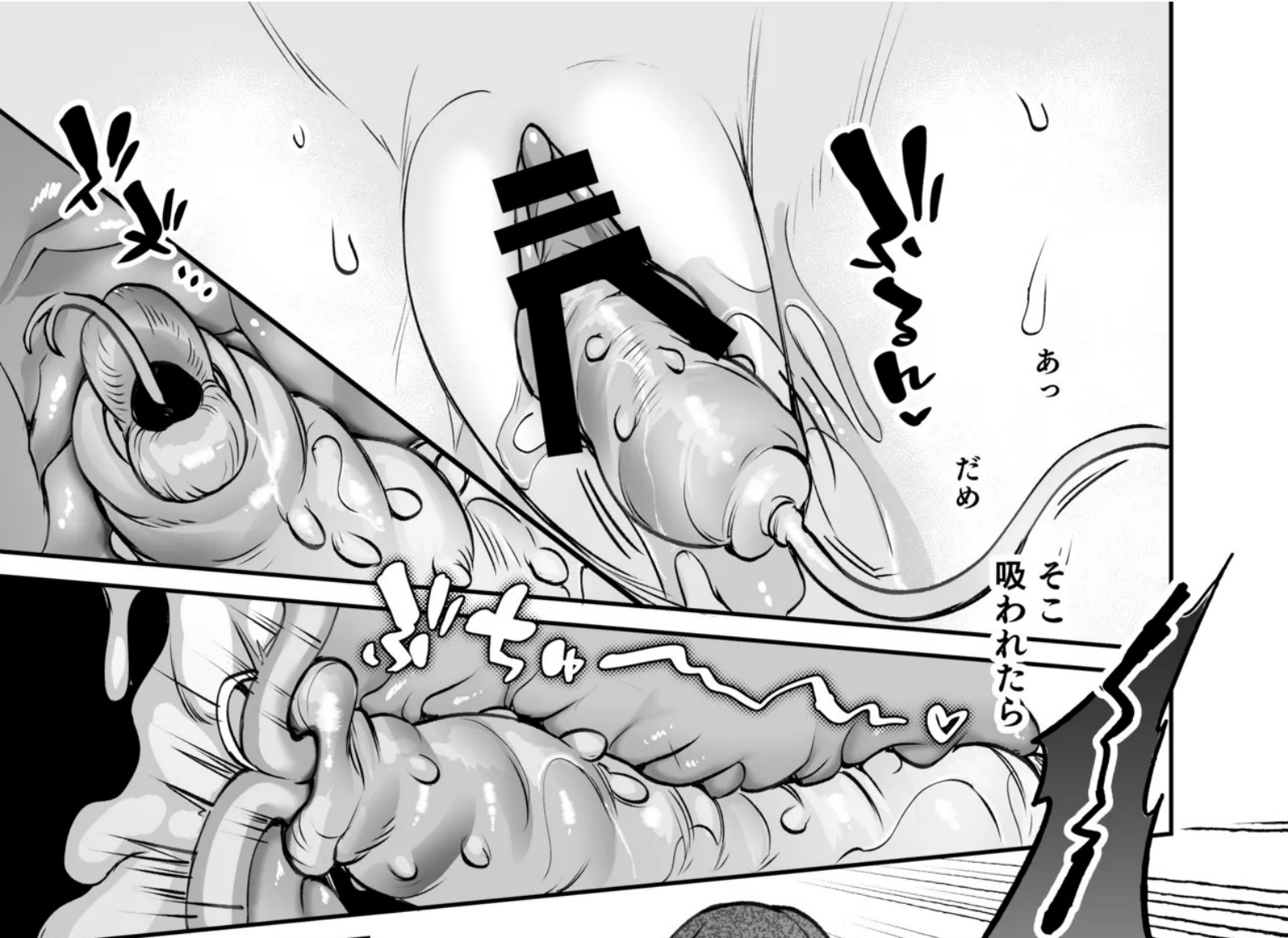
他人が私の異常に  
気付けないよう

認識を捻じ曲げる  
術を掛けた

とてもよく  
して  
いただいて……♡

これは奥様  
最近はどうだい

だから  
更夜さんは



あーっ

あっ

だめ

そこ  
吸われたら

あーっ



そうかい  
そうかい！

そいつは  
よかった

いやあ  
最初はどうかと  
思ったもんだが――

あーっ



更夜さん…♡

舞

だっ  
旦那様!

△いっ

△いっ

△いっ



更夜さんっ！

そんな態度  
やめてください

大切な使用人さん  
なんですから…！

は



そうだな



奥様…！

そんなこと  
言ったら何を  
されるか…！



これで  
いいよね？

さあ舞

部屋に戻ろう



いつも  
ご苦労  
末彦

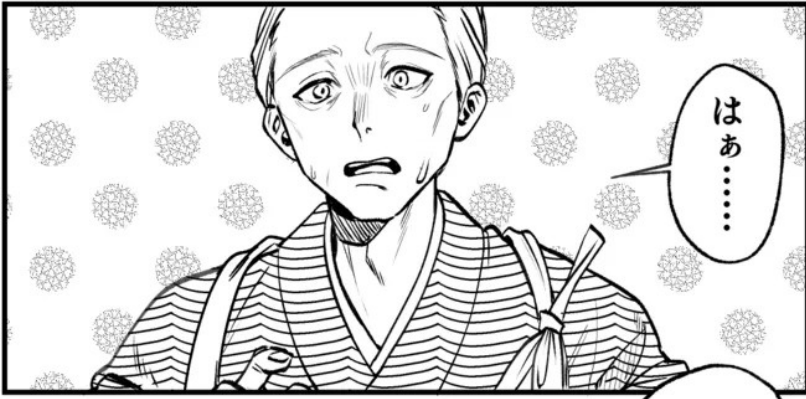
わ

私の  
名前を…！

とんでもない！  
もったいない  
お言葉です！

これからも  
励めよ

はいっ！



はあ……



人って変わる  
もんだなあ



しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

しゅわ

君は危機感が  
足りない

男と二人きりで  
話すなんて

そんなこと  
言われても…♡

使用人の方じゃ  
ないですかあ♡

だとしてもだ

干ッ！

おっ  
き……!?

だいぶ  
入るようにな  
ってきたね

まだ避妊の印は  
解除しないけど

今日は直接  
ここに注いで  
あげる…♡



受け入れて

僕を…っ！

クワッ！

ははっ！  
♡

わかるっ？

ははっ♡

全部  
入ったよ…！

ははっ♡







アッ

アッ

アッ

アッ



アッ



アッ

アッ

アッ



更夜、さん…？

…  
!!



見て  
ごらん



印が光った

君の体を作り  
替わった証だ





前よりも  
大きくなった？

それに  
感じやすく  
なってる♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

僕に触られて  
君の体が  
喜んでる♡

んんん

更夜さんが  
いつも触る  
せいです…っ！

ふうん  
そうだね

君の匂い  
暖かくて  
柔らかくて  
好きだなあ

んんん…

うう…

そんなに  
嗅がないで  
ください

恥ずかしい…っ

もっ…

いつももっと  
恥ずかしいこと  
してるのにな？



たくさん  
注いだ精液

ちゃんと全部  
吸い取れた  
みたいだ



念願の  
子作りだ

子宮を空っぽに  
しておかないとね



おちよび♡

これで  
心置きなく  
交尾できる

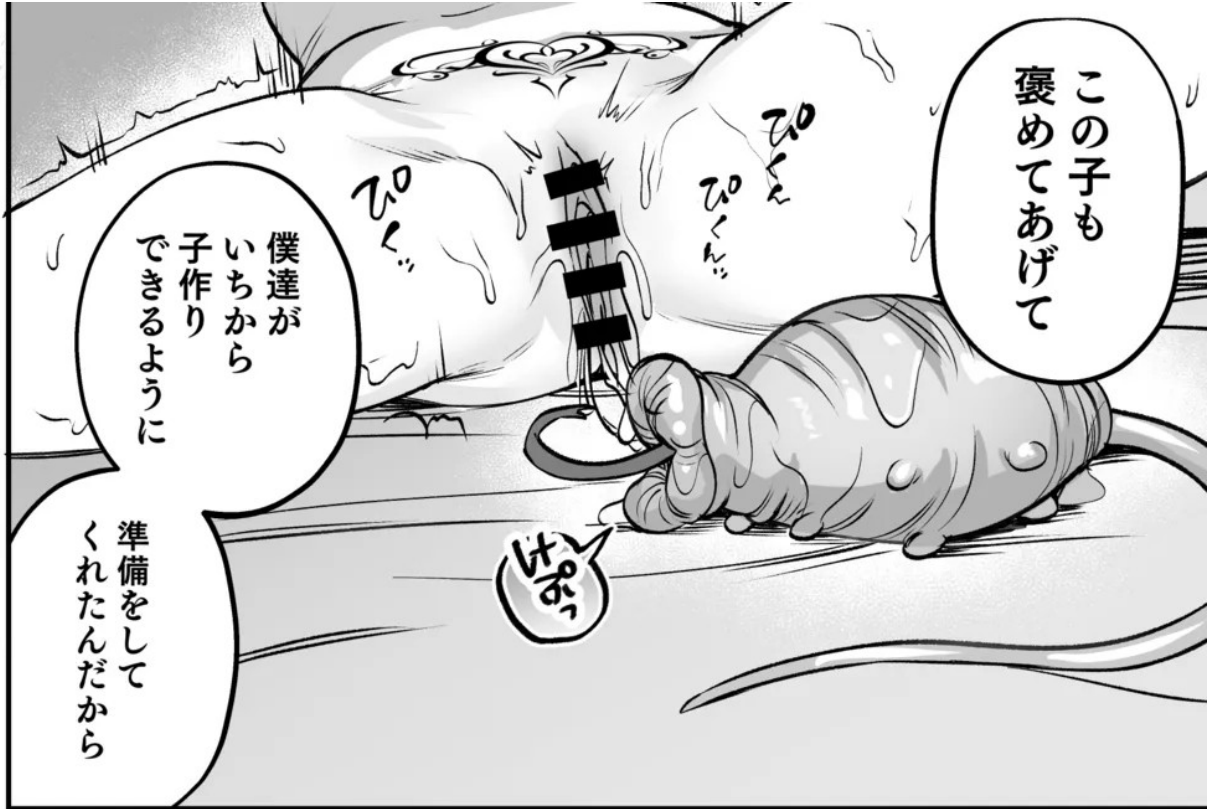


卵管に残った  
精液も全部  
吸い取った

子宮の中を  
ぜーんぶ  
舐めまわして



う  
うう……!



この子も褒めてあげて

僕達が  
いちから  
子作り  
できるように

準備をして  
くれたんだから

けろっ



でも私  
この子の  
せいで

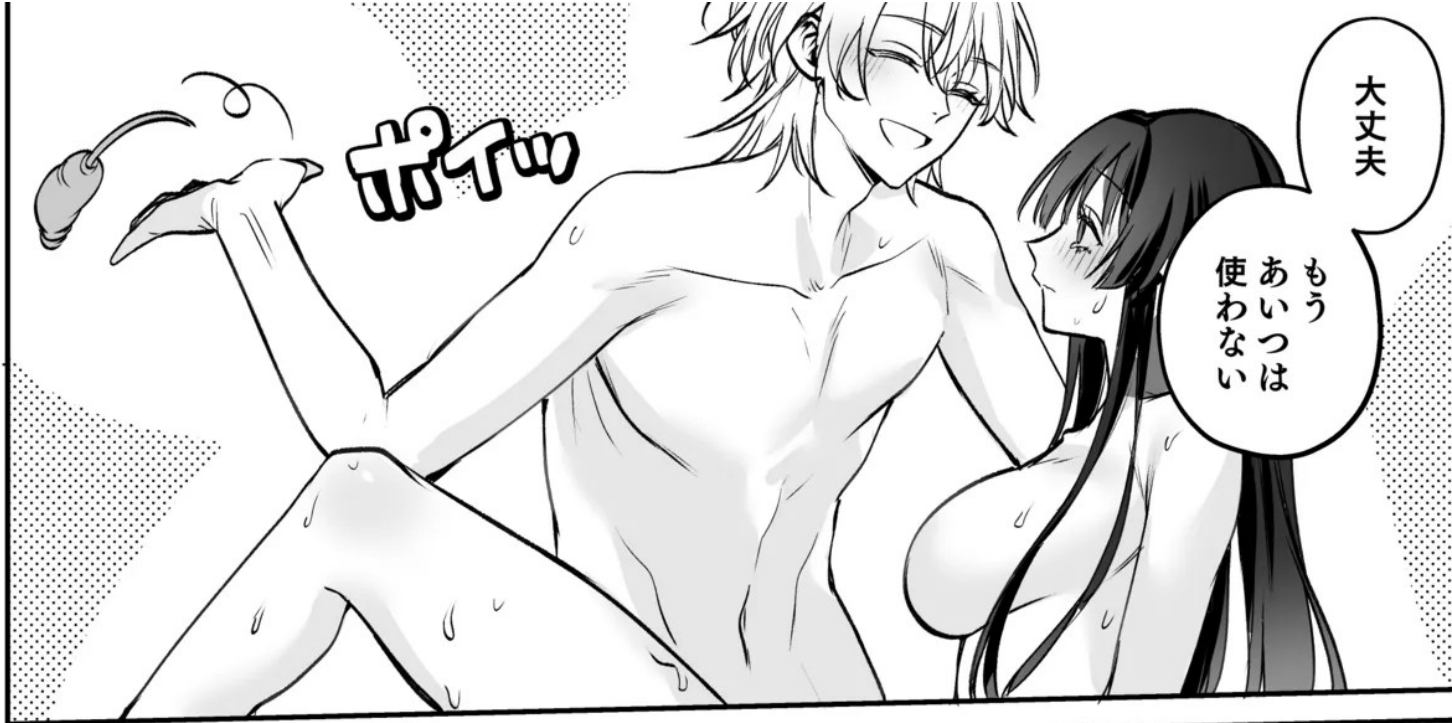
昼間に  
使用人さんの  
前でイカ  
されて……!



あぁ  
よしよし

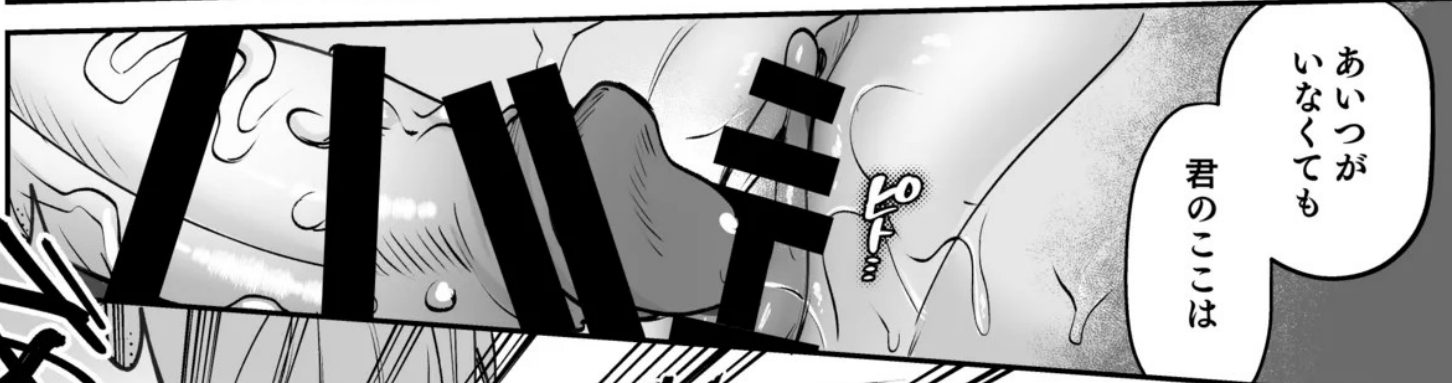
泣かないで  
恥ずかし  
かったね

ん……



大丈夫

もう  
あいつは  
使わない



あいつが  
いなくても

君のことは



僕を呑み込める  
ようになったん  
だから…!

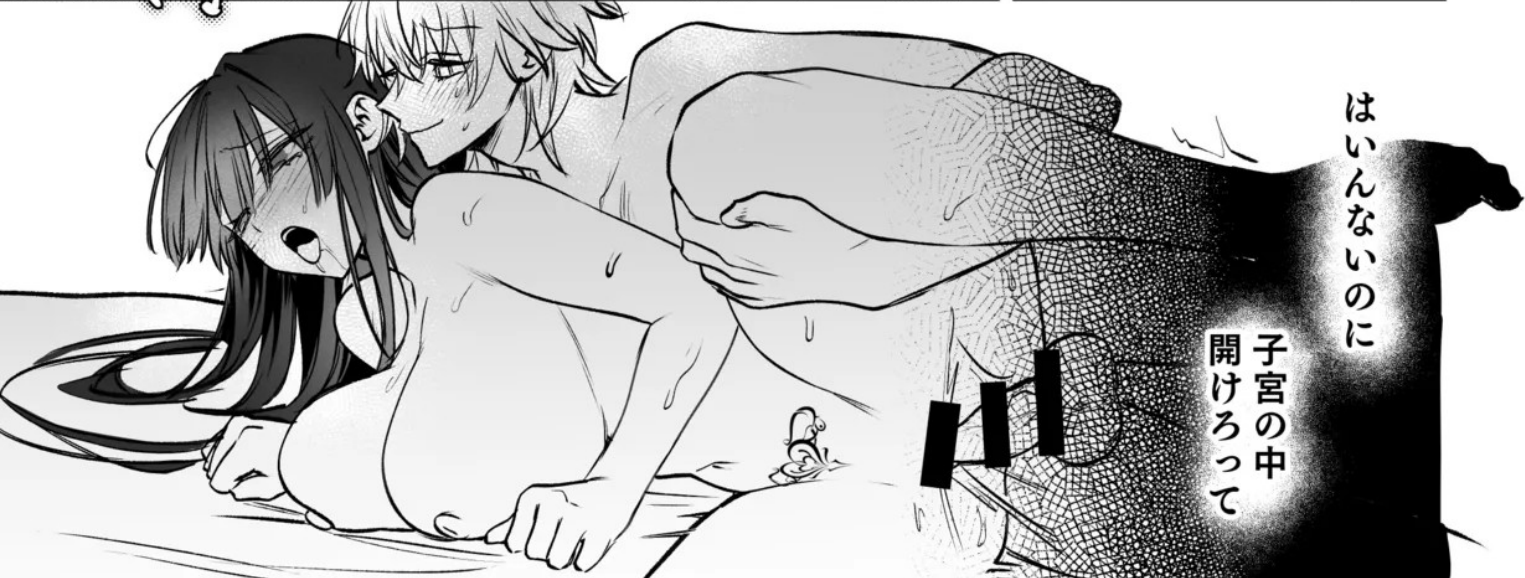


入ってる

奥まで

子宮の入り口  
ごりごりって  
削られる

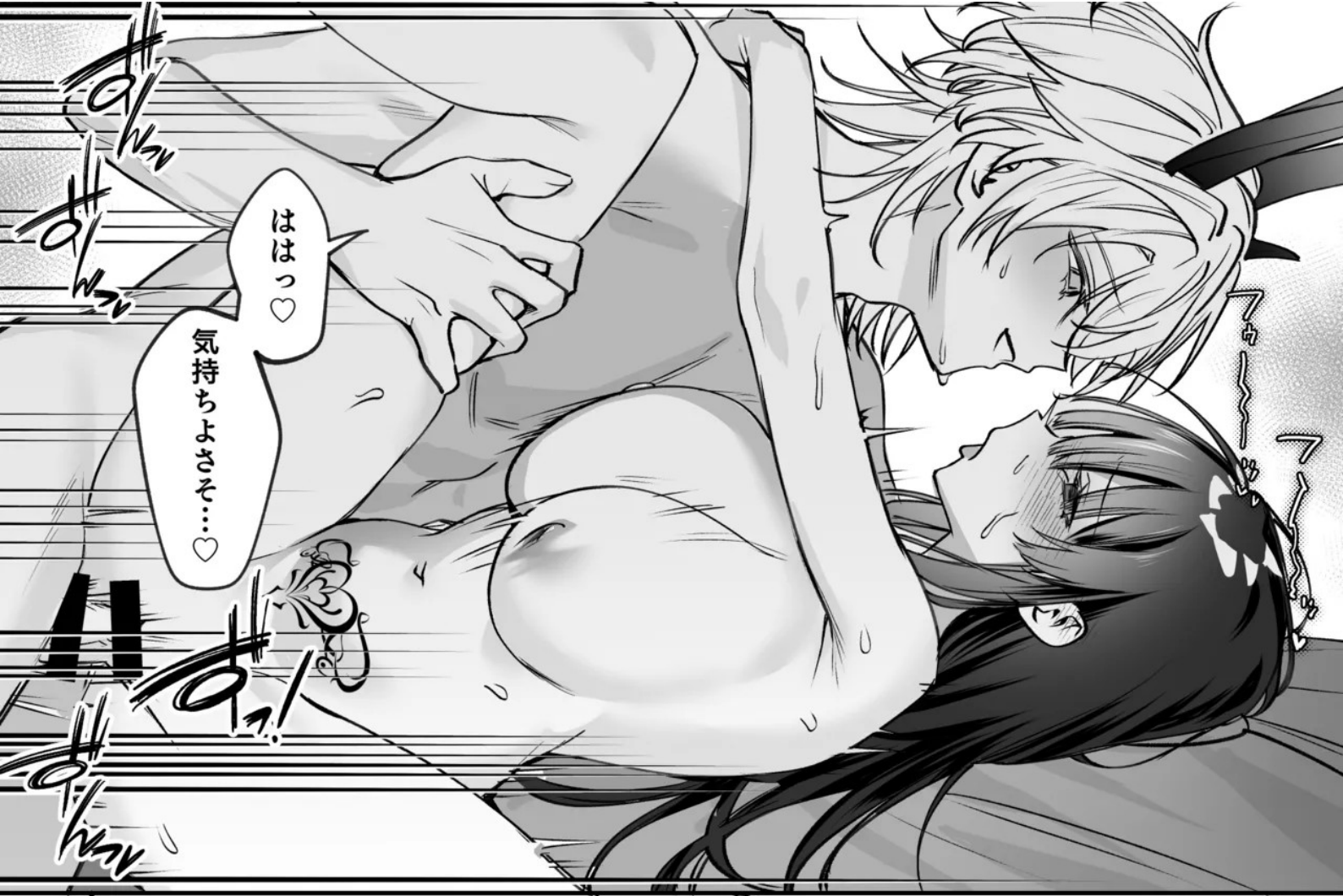
ほっ  
ちゅっ  
♡



はいんないのに

子宮の中  
開けろって

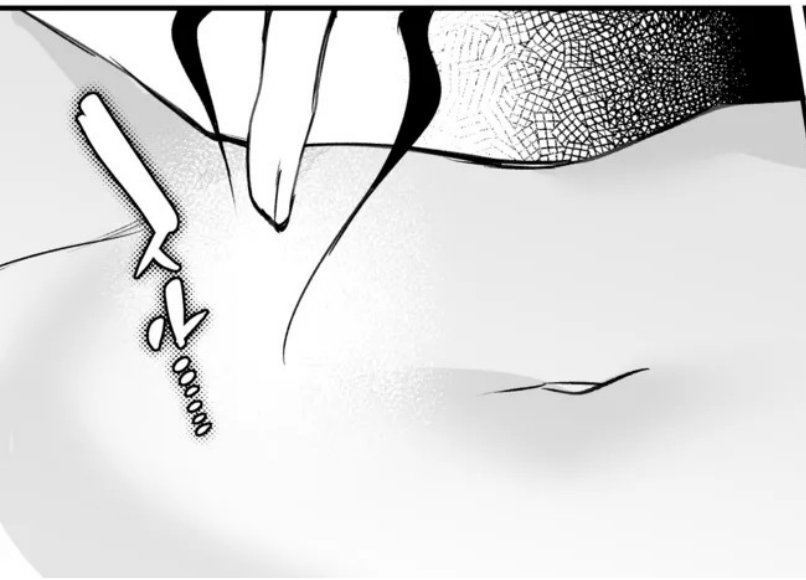




ははっ♡

気持ちよさそ〜♡

これはもう  
いらないね



あ

あ...



体の中で  
何かが  
切り替わった

妊娠 しちやう

できちゃう...♡

しんぞう

舞

君を拒絶して  
すまなかった

やりなおそう





さら

さらや さ…♡

不器用で  
優しくて  
かわいくて  
かっこいい人

わたしの

愛しいひと

好き…♡





あーっ!!  
あーっ!!  
あーっ!!

出す

絶対に  
離さない

出すよ

ずっと

孕め

イク

一生

傍に...!!

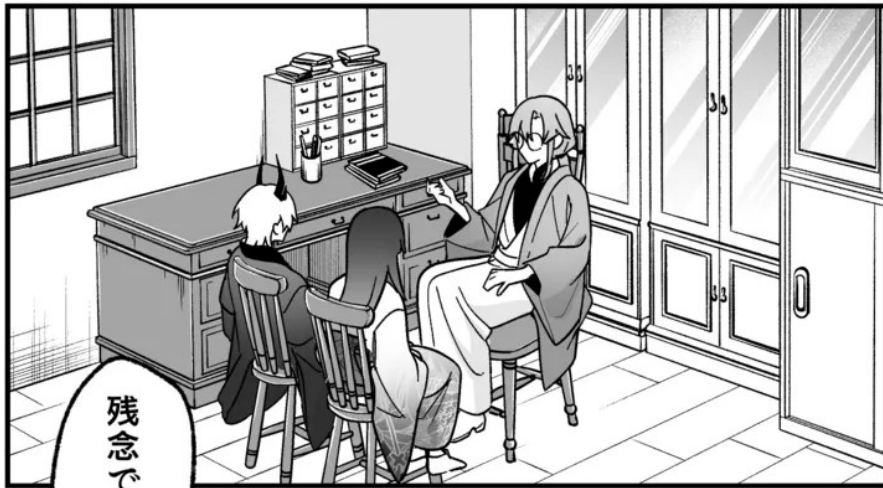
イク  
イク

孕んでっ!!

イク...!!

舞...っ!!





残念ですが

まじ…  
更夜さん…

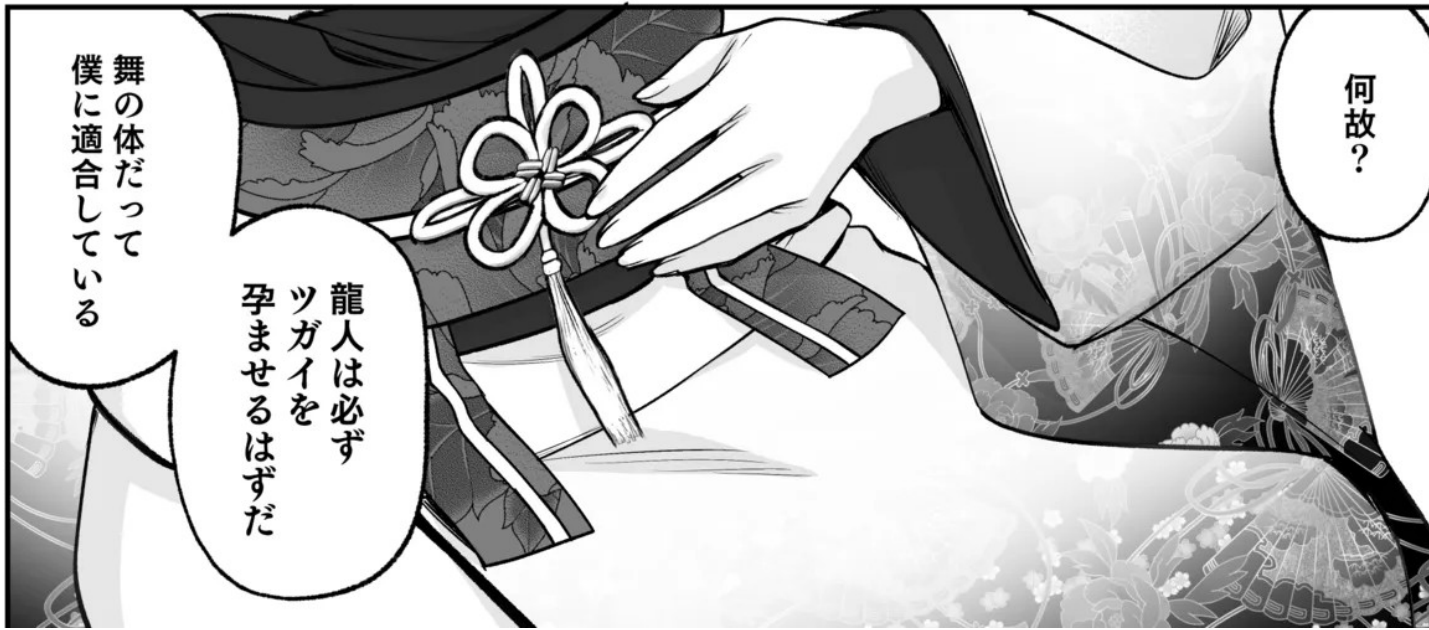


天々…




お二人の  
間に子供は  
できていません

何故？



舞の体だって  
僕に適合している

龍人は必ず  
ツガイを  
孕ませるはずだ




龍人の精子は  
本人の感情の  
影響を受けます

内向的な龍人は  
雌を孕ませる  
のが難しく

攻撃的な龍人の精は  
ツガイを殺して  
しまうこともある

つまり



更夜様が  
舞様を  
愛するあまり



精子が卵子を  
食い破って  
しまったのでしょう



更夜様

そ

それじゃあ  
どうしたら…

奥方への  
好意を  
抑えて  
ください



は？

でしょうね

ならば卵子を  
強くするしか  
ありません

これまでと  
同じ方法で



これまでと  
同じって  
ことは…

これからも  
更夜さんの精液を  
入れたまま  
生活するってこと…？

なんだ

それなら  
簡単だ

これからも  
頑張ろうね

舞



多分これ

いたちごっこ  
ですよねえ……